

くるめ子どもの医療を守る会 ニュース

平成24年1月10日

平成23年11月4日に子どもの医療費助成制度の拡充を求める要望書を久留米市へ提出し、回答書がきました。

(要望内容)

子どもの医療費は中学卒業まで公費で助成してください。

(久留米市の回答)

今後の子どもの医療費助成のあり方につきましては、国の社会保障と税の一体改革及び中核市や周辺自治体の動向を踏まえながら、総合的な子育て支援施策の充実を図るという観点で検討していきます。

また、国に対しては全国市長会を通じ、「子どもの医療費無料化制度を創設すること」、県に対しては県市長会を通じ、「国の制度創設までの間、市町村の支援を行うこと」、を要望しているところですが、今後も引き続き要望してまいります。

福岡県内の4町（苅田町・みやこ町・吉富町・築上町）では、すでに中学卒業まで助成しています。久留米市も中核都市として医療費助成トップクラスを目指し、「子どもの笑顔があふれるまちづくり」を実現させてほしいです。これからも久留米市の明るい未来のために、要望を続けていきます！！



ワクチン接種・妊婦健診の公費助成の継続を！！



平成23年11月28日、久留米市長に「ワクチン接種（子宮頸がん・細菌性髄膜炎）の公費助成の継続と妊婦健診の費用助成の継続を求める」請願書を提出しました。

現在久留米市では、これまで自己負担だった3種類のワクチン（子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン）接種にかかる費用を、平成23年2月1日から全額助成しています。また妊婦検診についても14回分の検診費用が助成されています。

ところが、これらの助成期間は平成24年3月31日までとされており、それ以降の助成は国に於いて検討中で、久留米市もその動向を踏まえて検討中とのことです。

請願書は、久留米市健康福祉部に読みあげた上で手渡しました。その際、「久留米市としても、国・県に助成を継続して欲しいと要請しています。また、1度始めた助成制度ですから中断することなく何とか継続するよう検討していきたいと思っています。」とのコメントを頂きました。

自己負担なしでワクチンの接種や妊婦健診を受けることは、安心して子どもを育てるために、絶対に必要です。今後の国や久留米市の動きに注目していきましょう。

平成23年12月14日、久留米市議会最終本会議において、議会運営委員会提出により継続を国に求める意見書が全員賛成で可決されました。

厚労省は、3種のワクチン助成を2012年度も継続する方針を決め、12/20補正予算案は閣議決定されました。

くるめ子どもの医療を守る会

構成団体／久留米構成団体／久留米市歯科保険医協会筑後支部

久留米市保育園保護者会連合会

筑後地区社会保障推進協議会

新日本婦人の会久留米支部

連絡先／新日本婦人の会久留米支部

住所：〒830-0038

久留米市西町1038-21

エンゼルコーポ101

電話／FAX:0942-38-0160